

# 基礎知識から学説史、最新の論点まで、 「行政学のエッセンス」が1冊に凝縮！

新版

行政学の全体像がコンパクトに把握できます！  
行政学初学者や、公務員試験・昇任試験対策等、  
改めて行政学を学びたい人におすすめです！

# 現代の行政

*modern public administration*

【著者】 森田 朗 *Akiya Morita*

A5判・単行本・240頁 定価：本体2,000円＋税

地方分権や行政改革などの情勢変化を経て、

強く市場の支持を集めた「改訂版 現代の行政」(森田 朗 著、放送大学教育振興会、2000年)を  
全面見直し！



## 本書の特色

- 行政学の代表的な学説や理論、学説史のほか、官僚制や日本の行政組織、政策評価制度、これからの課題など、行政学を理解するために必要なポイントを網羅的に押さえることができます。
- 要点がコンパクトにまとまっており、入門書として最適です。
- 行政における情報技術(IT)の応用(マイナンバー制度等)について、これまでの状況を振り返ると共に最新の論点を紹介しています。
- 巻末には参考文献付き。本書を入口として、行政学の世界を広げることができます。



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560  
<http://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694  
Fax. 0120-302-640

# 目次

<b>第1章 「行政」とは何か？—現代国家における行政活動</b>	<b>第6章 官僚制</b>	<b>第11章 行政活動と政策</b>
第1節 現代の行政	第1節 官僚制の理論——マックス・ウェーバーの官僚制論	第1節 行政活動のプログラムとしての政策
第2節 行政活動の例	第2節 ウェーバーの官僚制論の理解	第2節 政策の構造
第3節 行政分析の枠組み	第3節 組織論の展開	第3節 政策過程
<b>第2章 行政国家の成立</b>	<b>第7章 現代組織論</b>	<b>第12章 政策の決定</b>
第1節 社会構造の変化と行政の発展	第1節 決定と情報	第1節 合理的政策決定
第2節 近代国家の成立	第2節 組織における管理	第2節 合理性の限界と現実の政策決定
第3節 行政国家の成立	第3節 組織の病理	第3節 合意形成
第4節 福祉国家の実現	第4節 官僚の心理と行動	第4節 調整と計画
<b>第3章 行政学の発展</b>	<b>第8章 日本の行政組織</b>	<b>第13章 政策の執行</b>
第1節 行政学の誕生	第1節 日本の行政組織の特徴	第1節 政策執行の枠組み
第2節 行政学の発展——政治行政分断論	第2節 決定の方式——府省間調整	第2節 基準の適用
第3節 行政学の展開——政治行政融合論	第3節 行政組織の改革	第3節 法治行政と行政裁量
第4節 行政改革の理論	第4節 独立行政法人	<b>第14章 政策の評価</b>
<b>第4章 現代の政府体系</b>	<b>第9章 人事管理と財務管理</b>	第1節 政策評価の考え方
第1節 政府体系の構造	第1節 日本の公務員制度	第2節 政策評価の方法
第2節 中央と地方	第2節 官僚の人事システム	第3節 日本の政策評価制度
第3節 議会と行政府	第3節 予算と財務管理	<b>第15章 行政の課題と行政学の役割</b>
第4節 行政統制と参加	第4節 財政の現状と課題	第1節 わが国が直面する課題——少子高齢化・人口減少・財政危機
<b>第5章 内閣制度と国地方関係</b>	<b>第10章 行政と情報技術(IT)</b>	第2節 政治行政関係の変化と政治主導
第1節 日本の内閣制度	第1節 行政における業務	第3節 これからの行政学——ダウンサイジングによる効率化
第2節 戦後の社会の変化と政治体制の評価	第2節 情報技術(IT)の活用	参考文献
第3節 行政改革と内閣機能の強化	第3節 国民番号制度	あとがき
第4節 地方制度と分権改革	第4節 情報技術(IT)活用の可能性とリスク	索引

詳細・お申し込みはコチラ

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規

検索

CLICK!